

【付録1：活動報告帳票(KSE用)】

A:重要, 大:70%以上
 B:普通, 中:30~70%未満
 C:軽微, 小:30%未満

#	区分	問題点	支援内容	重要度	発生確率	対応要否	投資(AC)	効果(EV)
						千円	千円	千円
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								

開選隊記入欄
 プロジェクト概要
 プロジェクトの工程
 プロジェクトの状況
 特記事項
 その他
 開選隊の具体活動内容

KSE算出時に「効果 (EV) 」は発生確率を掛けた値で算出する。
 (例：QCD 問題を解決しなかった場合に想定される失敗コストが1,000千円
 で、発生確率が30%の場合、効果 (EV)は 1,000 X 0.3 = 300千円とする。)

【付録2：アンケート帳票】

開援隊調査アンケート

Format: Ver.1.01
 開発プロジェクトで実行していた、開援隊の活動について、ご意見をきかせてください。

日付

※SQAが、プロジェクトへ参画し、助言や支援を実施したことにより、プロジェクトの運営に寄与したか否か？ ※開発プロジェクトでのSQA活動の対象外の項目については無記入でお願いします。 チーム名・氏名：

#	PMBOK 知識体系	プロセス	カテゴリ	質問	回答	※当てはまるセルをダブルクリックしてください ※支援対象外の場合は選択しないでください
1	統合管理	実行	プロジェクト実行の指揮・管理	SQA参画により、プロジェクトの指揮・命令系統は、改善されましたか？ (例：指揮・命令系統が不明確であったが、SQAの助言や支援により明確になった。)	○とてもそう思う	○あまりそう思わない
2		監視・管理	プロジェクト作業の監視・管理 統合的な変更管理	SQA参画により、プロジェクトの監視と管理、及び問題発生時の対応策について、改善されましたか？ (例：SQAがプロジェクト進捗管理方法を助言し、管理方法が改善された。)	○とてもそう思う	○あまりそう思わない
3	スコープ管理	監視・管理	スコープ管理	SQA参画により、プロジェクトのスコープ（範囲、定義）や、WBSが明確になりましたか？ (例：SQAの支援により、プロジェクトの要件や成果物の曖昧な部分が明確になったなど)	○とてもそう思う	○あまりそう思わない
4			スコープ変更管理	SQA参画により、プロジェクトのスコープ変更管理が適切に行えましたか？ (例：SQAの支援により、途中でスコープの追加・変更を要求された時に、曖昧に受け入れず、スコープ変更管理会議の場等で審議して正式に承認を得ることができた。)	○とてもそう思う	○あまりそう思わない
5	スケジュール管理	監視・管理	スケジュール管理	SQA参画により、プロジェクトの作業が円滑に進みましたか？ (例：SQAの支援により、プロジェクトの遅れや作業の抽出したり、作業の実行を滞りなく行うことができた。)	○とてもそう思う	○あまりそう思わない
6				SQA参画により、プロジェクトの進捗管理や遅延対策を適切に行えましたか？ (例：SQAの支援により、プロジェクトの進捗を定期的に確認し、問題を適切に抽出することができた。また問題の分析を行い、分析に基づく有効な遅延対策を実施した、または遅れを未然に防いだ。)	○とてもそう思う	○あまりそう思わない
7	コスト管理	監視・管理	コスト管理	SQA参画により、プロジェクトの予算抽出が適切に行えましたか？ (例：SQAの支援により、予算に挙げていなかった項目を途中で気づき、プロジェクトの立ち上げまたは途中段階で予算を計上することができた。)	○とてもそう思う	○あまりそう思わない
8				SQA参画により、プロジェクトの予算超過を防ぐことができたか？ (例：SQAの支援により、後戻り防止など余計な作業をなくすることができ、余計な出費を防ぐことができた。)	○とてもそう思う	○あまりそう思わない
9	品質管理	実行	品質保証	SQA参画により、開発プロセスや品質計画に基づき、プロジェクトの沿った成果物が揃っていることを確認できましたか？ (例：SQAの支援により、プロジェクトの各工程の成果物が所定の場所に保管され、照査・認可されていることを確認できた。)	○とてもそう思う	○あまりそう思わない
10		監視・管理	品質管理	SQA参画により、プロジェクト成果物の品質状況を定期的に監視・管理することができましたか？ (例：SQAの支援により、開発対象物の品質状況を定期的にかつ的確に把握し、問題発生時に、分析を行い適切な対策をとることができた。)	○とてもそう思う	○あまりそう思わない

【付録2：アンケート帳票】

#	PMBOK 知識体系	プロセス	カテゴリ	質問	回答 ※当てはまるセルをダブルクリックしてください ※支援対象外の場合は選択しないでください
11	人的管理	実行	チーム結成/育成	SQA参画により、PM・Pメンバーの技術力が向上しましたか？ (例：SQAの知識や助言等を取り入れ、各メンバーを適切に配置できた、または各メンバーの技術力が向上した。)	○とても思う ○少し思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
12		監視・管理	プロジェクトチームの管理	SQA参画により、要員の過不足無くプロジェクトを進めることができましたか？ (例：要員不足時、SQAの助言によって要員補充が行えた、またはポトルネックを解消した。)	○とても思う ○少し思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
13	コミュニケーション管理	実行	情報の配布	SQA参画により、ホウレンソウが円滑になりましたか？ (例：SQAの助言や支援によって報告・連絡・相談が過不足無く行えるようになった。)	○とても思う ○少し思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
14		監視・管理	実績報告	SQA参画により、議事録の内容が改善されましたか？ (例：SQAによって、後から議事録を見返しても、明確な内容で記録されるように改善された。)	○とても思う ○少し思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
15		監視・管理	リスクの監視・管理	SQA参画により、開発プロジェクト内で気づかなかったリスクを抽出し、適切な対策を立てることができましたか？ (例：SQAがリスク管理の抽出、対策方法を支援してくれたなど)	○とても思う ○少し思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
16				SQA参画により、リスクを定期的に監視し、変化があった場合、対応策の検討が常に実施できるようになりましたか？ (例：SQAの助言により、リスクの状態の見える化が進んだ。現状のリスクの監視・対策や、関係各所への合意の支援をSQAが支援してくれたなど)	○とても思う ○少し思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
17	調達管理	実行	提案依頼 発注先選定	SQA参画により、依頼先に有用な提案依頼や、発注先の選定根拠が明確になりましたか？ (例：SQAによって気付いた点を依頼先に提案できた。)	○とても思う ○少し思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
18		監視・管理	契約管理	(例：発注先を選定する際、SQAの助言等により根拠のある発注先となった。)	○とても思う ○少し思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
19	ステークホルダー管理	実行	ステークホルダー・エンゲージ ド管理	SQA参画により、依頼先のサービス提供時期やアウトプットは改善されましたか？ (例：SQAの監視・管理によって各種ドキュメントが遅延無く提供された。)	○とても思う ○少し思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
20		監視・管理	ステークホルダー・エンゲージ ドコントロール	SQA参画により、ステークホルダーとコミュニケーションを取り、プロジェクトへの適切な関与が促進されましたか？ (例：SQAによって、ステークホルダー対応のアドバイスを受け、適切な時期にコミュニケーションをとり、プロジェクトに必要な情報を得ることができた。)	○とても思う ○少し思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
21	最後の質問			SQA参画により、ステークホルダーの関係を全般的に監視し、その人たちが適切にプロジェクトへ関与するために、戦略や計画などを調整できましたか？ (例：ステークホルダーとのコミュニケーションが難しかった時に、SQAから問題解決のための助言を受け、ステークホルダーとのコミュニケーションが改善し協力を得ることができた。)	○とても思う ○少し思う ○あまりそう思わない ○まったくそう思わない
22	自由記述欄			あなたは指導者活動を他の人にお勧めしますか？ 「0点（絶対勧めない）～10点（強く勧める）」でお答えください。	

あなたは指導者活動を他の人にお勧めしますか？
「0点（絶対勧めない）～10点（強く勧める）」でお答えください。

開票隊記入欄

名前
業務担当(PM/PL/実務/アシタ)
業務経過年数
その他

【付録3-(1):活動報告結果(KSE)】

【活動結果報告 Aプロジェクト】

A:重要 大:70%以上
B:普通 中:30-70%未満
C:軽微 小:30%未満

区分	問題点	支援内容	重要度	発生頻率	対応要否	投資(AO)	効果(EV)
1	リスク管理・監視・管理 →オプトアウト閉鎖不可となったが、代替チームへの品質確保施策を検討する必要がある。	開発品質が不安材料。開発者が作成した成果物について初期から出来栄を評価する仕組みを盛り込んだほうが良いのではないかと(1人1本目と本目以降の個人的傾向確認)、中間成果物の品質確認等 また、納入物(PCL等の仕様内容、エビデンスの粒度等)を明確に定義しないとオプトアウト閉鎖となりトラブルとなるPUが多い。	B	大	要	500	2000
2	コスト管理・監視・管理 内容にすることがある。	オプトアウト閉鎖不可となったが、記述レベルを統一する意味でも有用だと考える。 →オプトアウト閉鎖不可となったが、記述レベルを統一する意味でも有用だと考える。	B	中	要	200	0
3	スケジュール管理・監視・管理 詳細設計で考えるべき要素をユーザーエージェントについて顧客3名(ユーザー動向)が考える固定 だが仕様が出てこない。 11月中予定だが、11月末で仕様がでてくるかも、もしかしたらもっと遅くなる可能性あり。	顧客上層部(ステアリングコミティ等)の打ち合わせの場で、ユーザーエージェントの仕様提出期限を明示して遅れるようであれば、納期が守れないorコスト増で対応せざるを得ない等の罰則を早期に実施する必要あり。	B	大	要	100	1000
4	スケジュール管理・監視・管理 再見積もり	2000のユーザーエージェントの粒度を再見積もるべきと考える。 ※当初想定と実際の差を比較できれば、見積もり精度、作業工数、作業スケジュール等の精度を上げることができる。	B	大	要	100	1000
5	スケジュール管理・監視・管理 同上	顧客からユーザーエージェントが送られて来ないのであれば、段階的でも良いので送付してもらう等の調整が必要。	B	大	要	100	1000
6	統合管理・実行	詳細設計工程の中で進められていないユーザーエージェント仕様名もつた場合の手戻り作業分の工数などを見積もっておく必要があると考える。 ※設計と実務との差合性が出る可能性。(先行開始によるエラー重複等)	A	要	要	100	200
7	統合管理・実行	母体の不良修正について、当PUへの問い合わせ修正検討がされているのはいいか? ※そもそも母体の前週フレームワークから母体への問い合わせ修正も検討されていない。	A	要	要	100	200
8	品質管理・監視・管理	母体の不良修正について、当PUへの問い合わせ修正検討がされているのはいいか? ※そもそも母体の前週フレームワークから母体への問い合わせ修正も検討されていない。	A	要	要	100	200
9	品質管理・監視・管理	母体は既述通り完了しており結合試験中だが、担当者の話として、結合試験での不具合修正と修正後の確認作業が重複している。設計書の修正とソースコード修正と重複して対応しているのと、このことを修正せずに、設計書の修正とソースコード修正の修正が重複している。当PUへ、母体運用時に、未改修部分のリグレッションテストをJUNITソースで確認し工数を減らすようにしているが、エラーで動かない可能性がある。	B	要	要	100	500

開発者記入欄

プロジェクト概要	開発者PJ、母体運用で課題発生を要としてオプトアウト閉鎖計画予定
プロジェクトの工程	基本設計
プロジェクトの状況	安定
特記事項	他社開発機能の導入度が高く、結合試験で不具合が多発する想定、 ※また対応で開発業務が逼迫し、開発PJのメンバーに強い関与が少くない
その他	
開発者の具体活動内容	プロジェクト管理資料(PJ計画書、リスク管理、状況報告書等)を積み込み、 リスクや項目と取り扱う問題を整理、その上でPM、リーダー各、担当者に對して時間確保していること、 PMは初めの段階で、スクリーンショットを渡して、どのように対応しているか、 ヒアリングを実施した結果を踏まえて、各ヒアリング担当者に対して具体的に説明を実施し不明点、疑問点等を説明、検討して頂いた。

【活動結果報告 Bプロジェクト】

区分	問題点	支援内容	重要度	発生頻率	対応要否	投資(AO)	効果(EV)
1	リスク管理・監視・管理 PMが管理、課題管理のチェックが定期的に行っていない状況であった。リスク、課題を適切な時期に対応できず、QCD問題が発生する恐れがあった。	一週間に一回、リスク、課題を確認する会を開催し、実行中。	A	中	要	480	6000
2	スケジュールホルダー管理・監視・管理 仕様に合わせた、複数のスケジュールホルダーから異なる意見が出て、仕様を決められなかった。	考までの仕様決めややり方を聞いた上で、問題を分析し、迅速に行う具体的なアドバイスを行った。 各部門で仕様レビュー会を行っており、各レビュー会での仕様の真解が通っていたこと問題。対策として、各部門のキーマンを集めて一つのレビュー会議で仕様を決めるようにアドバイスした。	A	大	要	600	3000

開発者記入欄

プロジェクト概要	日開発プロジェクト
プロジェクトの工程	基本設計
プロジェクトの状況	安定、ただし、一部遅れありだが挽回可能
特記事項	PMは初めの段階で、スクリーンショットを渡して、どのように対応しているか、
その他	開発者の具体活動内容、スケジュール計画、実行支援、リスク管理支援

【付録3-(1):活動報告結果(KSE)】

【活動結果報告_Cプロジェクト】

#	区分	問題点	支援内容	重要度		発生頻度		対応要否		投資(EV)	
				A:重要 B:普通 C:軽微	大:70%以上 中:30~70%未 小:軽微	要	要	千円	千円		
1	品質管理_実行	テスト設計書なして、テスト要項書を作成していたので、観点漏れが発生する恐れがあった。	テスト設計書がないことを指摘し、作成させた。	B	中	要	要	100	250		
2	リスク管理_監視、管理	リスク管理票に、プロジェクト特性に応じた重大リスクが認識されていないかつた(新仕様が開発に受け入れられないリスク)、リスクが問題に変わりDelivery達成に影響を与える恐れがあった。	リスク管理票に登録させ、経過策(新指標を顧客に受け入れられるための具体的な立案)を設定した。	A:	中					2000	6000
3	リスク管理_監視、管理	リスク管理票に、プロジェクト特性に応じた重大リスクが認識されていないかつた(新委託開通に納期遅延に成果物を出さないリスク)、リスクが問題に変わりDelivery達成に影響を与える恐れがあった。	リスク管理票に登録させ、経過策(委託先とのコミュニケーション計画)を設定した。	A:	大					400	12000
4	統合管理_実行	ステータス報告書の項目がなかった。もし、審査を行わない場合、製品リリース後にバグに気づく恐れがあった。	開発P立ち上げ時の計画に入れさせた。	B	小					1000	1000
5	統合管理_実行	はじめに開発プロジェクトリーダーを任じたため、デザイナーレビューの各種資料の作成内容、レビュー時期、発生資料の内容がわからなかった。 予定通りに、デザイナーレビューが開催できなかった恐れがあった。	以下の支援により、遅りがなくデザイナーレビューを開催した。 ・プロジェクトリーダー業務内容一覧を作成し、全容を理解してもらった。 ・デザイナーレビュー開催日から逆算して、準備計画を一掃して作成した。これに基づき毎週確認会を行い、問題があれば解決アドバイスを行った。 ・資料一式の前身をレビューし問題箇所を修正した。	B	大					600	3000

開帳登録入帳

プロジェクト概要	C開発プロジェクト
プロジェクトの工程	立ち上げ、システム設計
プロジェクトの状況	安定、外観ステータホルダーの詳細計画調整中。
特記事項	PMは初めての経験だが、アクティブに行動できる。
その他	
開帳登録の具体活動内容	デザイナーレビュー計画、実行支援、リスク管理支援

【活動結果報告_Dプロジェクト】

#	区分	問題点	支援内容	重要度		発生頻度		対応要否		投資(EV)	
				A:重要 B:普通 C:軽微	大:70%以上 中:30~70%未 小:軽微	要	要	千円	千円		
1	品質管理_実行	プロジェクト開始の承認を得るために、プロジェクトの必要性をうまく説明できていなかった。	管理層の指図を元に、プロジェクトの必要性をレビューし、うまく説明できるよう支援した。	A:重要 B:普通 C:軽微	大					600	300

開帳登録入帳

プロジェクト概要	D技術開発プロジェクト
プロジェクトの工程	開発期
プロジェクトの状況	未定
特記事項	発生担当業務を行って来たが、PMは初めての経験
その他	
開帳登録の具体活動内容	プロジェクトの立ち上げ支援、プロジェクトの決裁支援

【活動結果報告_Eプロジェクト】

#	区分	問題点	支援内容	重要度		発生頻度		対応要否		投資(EV)	
				A:重要 B:普通 C:軽微	大 <th>要</th> <th>要</th> <th>千円</th> <th>千円</th>	要	要	千円	千円		
1	品質管理_実行	新しい環境に移転する開発に対し、品質確保計画の立案に問題があった。(影響をどこまで確認するの?)	開発対象と新旧開発環境の差異に注目して、テスト設計することを提案。ホワイトボックス、ブラックボックス両観点で体系的にテストポイントを挙げる作業を支援中。	A:重要 B:普通 C:軽微	大					1200	3600

開帳登録入帳

プロジェクト概要	Eプロジェクトの開発(経路探検)
プロジェクトの工程	開発準備、技術調査、開発計画立案
プロジェクトの状況	開発準備中
特記事項	別プロジェクトのPMから役割変更
その他	
開帳登録の具体活動内容	品質確保計画支援

【活動結果報告_Fプロジェクト】

#	区分	問題点	支援内容	重要度		発生頻度		対応要否		投資(EV)	
				A:重要 B:普通 C:軽微	大 <th>要</th> <th>要</th> <th>千円</th> <th>千円</th>	要	要	千円	千円		
1	品質管理_実行	開発準備で気付かない不具合がある。	上流工程でのQA仕様、不良3件発生。	A	大					120	120
2	品質管理_監視、管理	仕様不明瞭がある。	作業に顧客の訓練期間に投入し、顧客と認識を研がめてもらう。というところを打診した。(不良(件数出)	A	大					10	40
3	品質管理_監視、管理	顧客発注による工程の遅延。	定例ミーティングでQA訓練期間が毎日短くなるのが発生。 設計期間中にQA試験を実施する。(工費Bは確保、不良(件数出))	A	大					10	400

開帳登録入帳

プロジェクト概要	F開発プロジェクト
プロジェクトの工程	詳細設計~開発
プロジェクトの状況	安定、ただし、一部遅れ承りたが挽回可能
特記事項	PMは初めての経験だが、アクティブに行動できる。
その他	
開帳登録の具体活動内容	デザイナーレビュー計画、実行支援、リスク管理支援

【付録4-(1):アンケート結果一覧:PMBOK知識体系】

#	PMBOK知識体系	プロセス	カテゴリ	質問	Aプロジェクト_OS氏	Aプロジェクト_SH氏	Aプロジェクト_TN氏	Aプロジェクト_IK氏	Bプロジェクト_MO氏	Bプロジェクト_YH氏	Cプロジェクト_DT氏	Dプロジェクト_KM氏	Eプロジェクト_TS氏	Fプロジェクト_B氏		
1	統合管理	実行	プロジェクト実行の指揮・管理	SOA参画により、プロジェクトの指揮・命令系統は、改善されましたか？ (例：指揮・命令系統が不明確であったが、SOAの助言や支援により明確になった。)	3				3		2		1	2		
2		監視・管理	プロジェクト作業の監視・管理 統合的な変更管理	SOA参画により、プロジェクトの監視と管理、及び問題発生時の対応策について、改善されましたか？ (例：SOAがプロジェクト進捗管理方法を助言し、管理方法が改善された。)	3				3	4	4	3	3	3	3	
3	スコープ管理	監視・管理	スコープ管理	SOA参画により、プロジェクトのスコープ(範囲、定義)や、WBSが明確になりましたか？ (例：SOAの支援により、プロジェクトの要件や成果物の曖昧な部分が明確になったなど)							3	4	3	3		
4			スコープ変更管理	SOA参画により、プロジェクトのスコープ変更管理が適切に行えましたか？ (例：SOAの支援により、途中でスコープの追加・変更を要求された時に、曖昧に受け入れず、スコープ変更管理会議の場等で審議して正式に承認を得ることができた。)									4	3	3	
5	スケジュール管理	監視・管理	スケジュール管理	SOA参画により、プロジェクトの作業が円滑に進みましたか？ (例：SOAの支援により、プロジェクトの漏れていた作業を抽出したり、作業の実行を滞りなく行うことができた。)	3							4	3	2	3	
6				SOA参画により、プロジェクトの進捗管理や遅延対策を適切に行えましたか？ (例：SOAの支援により、プロジェクトの進捗を定期的に確認し、問題を適切に抽出することができた。また問題の分析を行い、分析に基づく有効な遅延対策を実施した、または遅れを未然に防いだ。)	3									3	3	2
7	コスト管理	監視・管理	コスト管理	SOA参画により、プロジェクトの予算抽出が適切に行えましたか？ (例：SOAの支援により、予算に挙げていなかった項目を途中で気づき、プロジェクトの立ち上げまたは途中段階で予算を計上することができた。)	3								4	3	3	2
8				SOA参画により、プロジェクトの予算超過を防ぐことができたか？ (例：SOAの支援により、後戻り防止など余計な作業をなくすことができ、余計な出費を防ぐことができた。)	3								4	3	3	2
9	品質管理	実行	品質保証	SOA参画により、開発プロセスや品質計画に基づき、プロジェクトの沿った成果物が揃っていることを確認できましたか？ (例：SOAの支援により、プロジェクトの各工程の成果物が所定の場所に保管され、照査・認可されていることを確認できた。)	4				3	4	3	4	2	4	3	
10		監視・管理	品質管理	SOA参画により、プロジェクト成果物の品質状況を定期的に監視・管理することができましたか？ (例：SOAの支援により、開発対象物の品質状況を定期的にかつ的確に把握し、問題発生時に、分析を行い適切な対策をとることができた。)	4				3	4	3	4	3	4	3	

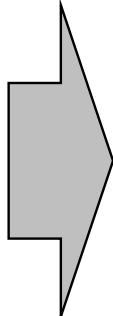
【付録4-1(1):アンケート結果一覧:PMBOK知識体系】

#	PMBOK知識体系	プロセス	カテゴリ	質問	Aプロジェクト_OS氏	Aプロジェクト_SH氏	Aプロジェクト_TN氏	Aプロジェクト_IK氏	Bプロジェクト_MO氏	Bプロジェクト_YH氏	Cプロジェクト_DT氏	Dプロジェクト_KM氏	Eプロジェクト_TS氏	Fプロジェクト_B氏	
11	人的管理	実行	チーム結成/育成	SQA参画により、PM・PJメンバーの技術力が向上しましたか？ (例：SQAの知識や助言等を取り入れ、各メンバーを適切に配置できた、または各メンバーの技術力が向上した。)		3					4	3	2	3	
12		監視・管理	プロジェクトチームの管理	SQA参画により、要員の適不足無くプロジェクトを進めることができましたか？ (例：要員不足時、SQAの助言によって要員補充が行なえた、またはポータルネットワークを解消した。)							3	2	3	2	
13	コミュニケーション管理	実行	情報の配布	SQA参画により、ホウレンソウが円滑になりましたか？ (例：SQAの助言や支援によって報告・連絡・相談が適不足無く行えるようになった。)						4	4	2	3	3	
14		監視・管理	実績報告	SQA参画により、議事録の内容が改善されましたか？ (例：SQAによって、後から議事録を見返しても、明確な内容で記録されるように改善された。)		3					3	3	3	3	
15	リスク管理	監視・管理	リスクの監視・管理	SQA参画により、開業プロジェクト内で気づかなかったリスクを抽出し、適切な対策を立てることができましたか？ (例：SQAがリスク管理の抽出、対策方法を支援してくれたなど)	3			4	4	3	3	4	2	3	
16				SQA参画により、リスクを定期的に監視し、変化があった場合、対応策の検討が常に実施できるようになりましたか？ (例：SQAの助言により、リスクの状況の見える化が進んだ。現状のリスクの監視・対策や、関係各所への合意の支援をSQAが支援してくれたなど)	3			3	4	4	3	4	2	3	
17	調達管理	実行	提案依頼 発注先選定	SQA参画により、依頼先に有用な提案依頼や、発注先の選定根拠が明確になりましたか？ (例：SQAによって気づいた点を依頼先に提案できた。) (例：発注先を選定する際、SQAの助言等により根拠のある発注先となった。)									3	3	2
18		監視・管理	契約管理	SQA参画により、依頼先のサービス提供時期やアウトプットは改善されましたか？ (例：SQAの監視・管理によって各種ドキュメントが遅延無く提供された。)								3	3	3	
19	ステークホルダー管理	実行	ステークホルダー・エンゲージド管理	SQA参画により、ステークホルダーとコミュニケーションを取り、プロジェクトへの適切な関与が促進されましたか？ (例：SQAによって、ステークホルダー対応のアドバイスを受け、適切な時期にコミュニケーションをとり、プロジェクトに必要な情報を得ることができた。)						4	4	4	2	3	
20		監視・管理	ステークホルダー・エンゲージド ントロール	SQA参画により、ステークホルダーの関係を全般的に監視し、その人たちが適切にプロジェクトへ関与するために、戦略や計画などを調整できましたか？ (例：ステークホルダーとのコミュニケーションが難しかった時に、SQAから問題解決のための助言を受け、ステークホルダーとのコミュニケーションが改善し協力を得ることができた。)							3	4	4	2	3

【付録4-(2):アンケート結果一覧まとめ:PMBOK知識体系】

PJ	被アンケート実施者	職位	領域																お勧めする可能性(NPS)				
			統合管理_実行	統合管理_監視・管理	スコープ管理_スコープ管理	スコープ管理_スコープ変更管理	スケジュール管理_監視・管理①	スケジュール管理_監視・管理②	コスト管理_監視・管理①	コスト管理_監視・管理②	品質管理_実行	品質管理_監視・管理	人的管理_実行	人的管理_監視・管理	コミュニケーション管理_実行	コミュニケーション管理_監視・管理	リスク管理_監視・管理①	リスク管理_監視・管理②		調達管理_実行	調達管理_監視・管理	ステークホルダー管理_実行	ステークホルダー管理_監視・管理
A	O.S	PM	3	3			3	3	3	3	3	3	3	3		3	3						6
	S.H	リーダー														3							5
	T.N	リーダー																					7
	I.K	担当者																					8
B	平均		3	3			3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	6.5
	M.O	PM	3	3																			7
	Y.H	PM																					7
	平均		3	3.5																			7
C	D.T	PM	2	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	10
	K.M	PM	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	4	4	3	3	4	4	8
E	T.S	PL	1	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	2	3	3	2	2	3	3	2	2	5
	B	PM	2	3	3	3	2	2	2	3	3	3	3	3	2	3	3	3	2	3	3	3	7
総平均	-	-	2.2	3.25	3.25	3.33	3	2.6	3	3	3.33	3.5	3	2.5	3.2	3	3.17	3.17	2.67	3	3.4	3.2	7.25

平均:該当無しは母数から除く。判例(4:とてもそう思う 3:少しそう思う 2:あまりそう思わない 1:まったくそう思わない)



全プロジェクトのアンケート平均値から、有効となる3以上の領域は20領域中16領域であり、効果があった。無効となる3未満の領域は4領域だが、「統合管理_実行」「スケジュール管理_監視・管理」については条件付で有効であった。アンケートが無効の理由として、本領域においてSQAが期待されている支援内容が限定的であるためであった。開業隊活動として本領域では範囲を拡大せず期待されている内容に注力して活動すべきである。

【付録5:アンケート結果一覧:NPS】

#	プロジェクト名_氏名	項目	回答
1	Aプロジェクト__OS氏	NPS : 批判者	6
		自由記述欄と改善方法	実際としてはプロジェクト推進会議等で助言いただいたけども効果が高いと考える。(開陳意見:【説明の留意点】開発者個人の支援に留まっていることを懸念している。)
		開陳隊記入欄	年齢 業務担当(PM/PL/実装/テスト) 業務経験年数 その他
		NPS : 批判者	50代前半 PM 15年程度 (PMとして) 部長が課長職位の仕事を兼任しPMとして参画している。
2	Aプロジェクト__SH氏	自由記述欄と改善方法	今回の支援は、支援を受けたい人が受けた支援ではない為、効果や効果判定が複雑になっていると考える。 QA部署にてこのような開発支援 (サポートリレーションのみ) のサービスが存在するようならば、開発部隊としては非常に有用なサポートになると感じる。 正直な感想としては、今回は開発側がそれほど悩みに対して外部からの助言を必要としない状態であったかと思う。 この為、本来であれば有用な情報である物もそれほど恩恵があったと感じにくいのかもかもしれません。
		開陳隊記入欄	年齢 業務担当(PM/PL/実装/テスト) 業務経験年数 その他
		NPS : 中立者	30代後半 PL 10年程度 プロジェクト開発のリーダー。海外オプショナ計画担当
		自由記述欄と改善方法	プロジェクト内では、問題なく進めているように感じている。QAからの違う観点で見てもらえることは有意義であったと思う。大きなプロジェクトになれば効果はより大きくなると思う。 問題点に対して、他プロジェクトでの成功or失敗事例を提示してもらえると、他の主任などに勧めやすい。
3	Aプロジェクト__TN氏	自由記述欄と改善方法	今回についてはプロジェクト立ち上がり前のリスク等について助言をいただくことが出来た。 プロジェクト立ち上がり後も必要に応じて上記のような機会を作成し、助言をいただけるようにしていきたいと思っています。
		開陳隊記入欄	年齢 業務担当(PM/PL/実装/テスト) 業務経験年数 その他
		NPS : 中立者	30代後半 業務エンジニア/プロジェクトのリーダー 10年程度
		自由記述欄と改善方法	責任と権限を持って入ってもらえたらよい。 ・より傍にいて、チームの負担 (負荷、精神的) を下げる。 ・コスト、品質を常に監視する。 ・会議で問題が発生した時に、仲介に入って問題解決に貢献してほしい。 ・会議の場で、プロジェクトの問題を挙げて、助言してほしい。 ・チームの主旨を理解した上で、チームの動所を掴み、適切にアドバイス、対策をする。
4	Aプロジェクト__IK氏	自由記述欄と改善方法	責任と権限を持って入ってもらえたらよい。 ・より傍にいて、チームの負担 (負荷、精神的) を下げる。 ・コスト、品質を常に監視する。 ・会議で問題が発生した時に、仲介に入って問題解決に貢献してほしい。 ・会議の場で、プロジェクトの問題を挙げて、助言してほしい。 ・チームの主旨を理解した上で、チームの動所を掴み、適切にアドバイス、対策をする。
		開陳隊記入欄	年齢 業務担当(PM/PL/実装/テスト) 業務経験年数 その他
		NPS : 中立者	50代 PM 約30年 (PMは約10~15年)
		自由記述欄と改善方法	・品質の良し悪しや容易にかつ客観的に把握できるように支援してもらえたらうれしい。 ・最後の質問を10にするためには？ : 時間をとらずに、効果的な支援をしてもらえたら、他の人に必ず勧めます。(開陳意見:【説明の留意点】相談時に開発プロジェクト内部の事情や技術内容に関して説明する必要があり、時間を取られることを懸念している。)
5	Bプロジェクト__MO氏	自由記述欄と改善方法	品質の良し悪しや容易にかつ客観的に把握できるように支援してもらえたらうれしい。 最後の質問を10にするためには？ : 時間をとらずに、効果的な支援をしてもらえたら、他の人に必ず勧めます。(開陳意見:【説明の留意点】相談時に開発プロジェクト内部の事情や技術内容に関して説明する必要があり、時間を取られることを懸念している。)
		開陳隊記入欄	年齢 業務担当(PM/PL/実装/テスト) 業務経験年数 その他
		NPS : 中立者	30代 PL 約15年
		自由記述欄と改善方法	品質の良し悪しや容易にかつ客観的に把握できるように支援してもらえたらうれしい。 最後の質問を10にするためには？ : 時間をとらずに、効果的な支援をしてもらえたら、他の人に必ず勧めます。(開陳意見:【説明の留意点】相談時に開発プロジェクト内部の事情や技術内容に関して説明する必要があり、時間を取られることを懸念している。)
6	Bプロジェクト__YH氏	自由記述欄と改善方法	品質の良し悪しや容易にかつ客観的に把握できるように支援してもらえたらうれしい。 最後の質問を10にするためには？ : 時間をとらずに、効果的な支援をしてもらえたら、他の人に必ず勧めます。(開陳意見:【説明の留意点】相談時に開発プロジェクト内部の事情や技術内容に関して説明する必要があり、時間を取られることを懸念している。)
		開陳隊記入欄	年齢 業務担当(PM/PL/実装/テスト) 業務経験年数 その他
		NPS : 中立者	30代 PL 約15年
		自由記述欄と改善方法	品質の良し悪しや容易にかつ客観的に把握できるように支援してもらえたらうれしい。 最後の質問を10にするためには？ : 時間をとらずに、効果的な支援をしてもらえたら、他の人に必ず勧めます。(開陳意見:【説明の留意点】相談時に開発プロジェクト内部の事情や技術内容に関して説明する必要があり、時間を取られることを懸念している。)

【付録5:アンケート結果一覧:NPS】

#	プロジェクト名_氏名	項目	回答
7	Cプロジェクト_DT氏	NPS : 推奨者 自由記述欄と改善方法 開援隊記入欄 NPS : 中立者	10 動機ない理由はない。(マイナスになることはない。効果がない項目はゼロなのでマイナスではない。) 依存しすぎないようにしている。 30代 PM 約10年 初めてのPM (開発リーダー) 経験
8	Dプロジェクト_KM氏	NPS : 推奨者 自由記述欄と改善方法 開援隊記入欄 NPS : 批判者	8 SQAとして支援を強く進めるためには、経験と知識が必要。 自他ともに客観的に推奨できるように、資格などがあればよいのではないかと。 成果物のチェックカードだけでは期待できない。適切なアドバイスが必要。 品質で問題がある(ターン)は、大規模PJ、経験が少ない人が実施。それを補う、支援できるスキルのある人が良い。 40代 40代 約20年 (PMは初めて)
9	Eプロジェクト_TS氏	NPS : 推奨者 自由記述欄と改善方法 開援隊記入欄 NPS : 中立者	5 活動に対して、時間をかけた割に、効果がないのは良くない。(開援隊見解 : 「質問の留意点」問題を把握するための質問に時間を取られる事を懸念している。) 効果がありそうな活動はお勧めするし、なさそうなものはお勧めしない。 表面的な支障だと、時間が取られるばかりで効果が無いのでは無いかと危惧する。 最後の質問を10にするためには? : コスト、調達管理などは時間が取られないので効果がある。しかし品質管理・リスク管理は時間をとられるのは仕方ないが、確実に効果が出ることを示す。(なぜなら分析、データ収集・集計) (開援隊見解 : 「協調の留意点」本当に開援隊が時間を取って支障してくれるのかを懸念している。) 40代 PM 約20年 (PMは約3年) 7 設計では気付かないことをご指摘いただくことができたので、良いと思う。
10	Fプロジェクト_B氏	NPS : 推奨者 自由記述欄と改善方法 開援隊記入欄	40代 PM 約15年



10名の内、推奨者・中立者・批判者の割合は下記の通り。
 推奨者(9,10) : 10% 1/10名
 中立者(7,8) : 60% 6/10名
 批判者(0~6) : 30% 3/10名

NPS指標 = (推奨者の割合(1名10%) - 批判者の割合(3名30%)) = -20